

佳作

人生、山あり谷あり感動あり!!

京都府 京都市立二条中学校三年 市瀬 優希

「おぎゃ〜おぎゃ〜。」

「お母さん、良かったね、おめでと〜ございます。」
と看護婦さんが…。母は直に、

「無事に元気ですか？五体満足ですか？手足の指は
五本ちゃんとありますか？…」

と質問攻め。看護婦さんが、母の胸元まで産まれた
ばかりの私を見せに来て

「元気な赤ちゃんで大丈夫ですよ。」

と一言。その時、初めて母は心安しし、我が子の誕
生に今までに無い感動を覚えた。と聞きました。

母が、そんなに色々心配したのは理由があり
ます。母は高校生になって直に、難病の病気になる
学生時代を病院のベットでほぼ過ごし、二十歳にな
る頃までは入院をし、生死をさ迷うこともあった
そうです。その時に、

「この先結婚をしても赤ちゃんは無理です。病気を
悪化させ、お母さんの身体も、赤ちゃんも、どう
なるか分からないから考えないで下さい。」

と言われたそうです。でも母は、どうしても赤ちゃん
が欲しくて、病院の先生と相談し色々なケアをし
ながら、母は人一倍、体に気を遣い、私をお腹の中
で大切に大切に育ててくれました。母は大量の強い
薬を飲んできているのと病気自体で上手く赤ちゃん
が成長しない事を心配していたそうです。母の体の
事を考え、帝王切開で出産し予定日も決まっていま
したが、突然、心音が弱まっている危険な状況にな
り、急遽、手術になったそうです。だから、母や周
りの家族もすごく心配していたと聞きました。私は、
そんな思いをしてまで私を産んでくれた事を知り、
感謝と共に沢山の愛情を感じ、心が嬉しくなりまし
た。産まれてからも母は、私の成長記録を一日の中
でも何時に起き、寝たり、ミルクの時間や量、排尿、
排便の回数、食べた物、初めてした事、話した事な
ど、すごく細かく書かれてる二歳頃までのノートを見
て本当に驚きました。そこで又、改めて大切に育
てられてきたんだな…と思い、そのノートは私の宝
物の一つです。私が成長していく中で、母に兄妹が

欲しいと何度も言っていたのを覚えています。今から思えば母は命をかけて産んでくれたのに、何も知らなかったとは言え、母も辛い思いをしたと思います。兄妹が居ない私は物心がついた頃から、子供が大好きで幼稚園の先生になりたいという夢をずっと持っています。

今、中学三年生になり進路を考える時です。母は学生時代したい事ができなかったから私には思う存分好きな事をして欲しいと、応援してくれて一番の理解者で色々な事を調べてくれて私にアドバイスをしてくれたり本当に心強い母だと感謝の気持ちで一杯です。母は、よくこう言います。「人生山あり谷あり」。良い事もあれば必ず辛い事もある。そうしながら人生色々な経験をしていくものだ。私は正直このテーマの「感動」という事を、まだ感じた事が無いし意味も分かりません。だから、この先の人生、母の言う様に色々な経験をし心が豊かになる感動という感覚を沢山味わい人生を豊かにしたいと思います。